## 提案概要

デ価項目		
評価項目		
基本的な考え方	施設の性格や目的 等に合致した方針 があること	下関市民会館を地域文化の活動の拠点として、市民一人ひとりが文化芸術に触れ、心豊かで活力ある地域社会の形成に寄与し、多様な文化芸術活動を支え、次世代への文化継承を推進する
	市民の平等な利用	市民会館の設置条例、施行規則等関係法令を遵守し、法令に基
	が確保されている	づき適正な利用許可及び利用制限を行い、利用者への平等の確
	こと ************************************	保に努める
	施設の効用が最大	地域の文化団体や各種文化活動、会議や講座の場として施設を
	限発揮されている こと	貸与することにより、市の文化振興の拠点として様々な文化に 触れる機会を広げ、地域の文化芸術の振興に努める
		公益法人の立場を自覚し、適正な経理を努めるとともに、整備
団体の経営状態(経営の健全性)		な血伝人の立場を自見し、過止な程度を労めることもに、整備 された帳簿や台帳等を整え、監査に積極的に協力する
事業計画	施設管理運営の実 施方針(合目的性)	市民の心豊かな生活の向上に寄与すべく、文化芸術の振興を図
		るため、貸館事業と自主事業が共存・補完し合える施設運営体
		制を構築し、市民全体にとって価値ある文化拠点を目指す
	事業への具体的な 取組み方(機能性、 独創性)	自主事業においては、音楽や演劇、古典芸能、映画等の幅広い
		ジャンルにわたり、鑑賞型にとどまらない、市民自らが参加・
		体験できるプログラムに注力し、また、文化の地域格差を是正
		するアウトリーチ事業、市内の小中学校を訪問する学校公演、
		地域公演を通じて、年齢や地域を問わず文化芸術に触れる機会
		を提供し、文化の普及と地域の一体感を醸成します
	施設の運営体制や	市民会館のほか近代先人顕彰館、生涯学習プラザの3施設を管
	組織(責任制、実効	理運営し、設置目的の達成のため適材適所に人員を配置し、ま
	性)	たは応援体制を確立し、業務の円滑化を図る
	適正な管理や経理	公益法人の立場を自覚し、適正な経理を努めるとともに、整備
	(明瞭性、規律性)	された帳簿や台帳等を整え、監査に積極的に協力する
	安全管理、緊急時 等の対応(安全性)	利用者の安全確保を第一に危機管理マニュアル、舞台業務安全
		管理マニュアルを作成し、その遵守と定期的な教育と訓練を実 拡える
		施する 歩行困難な高齢者や身障者の方の利用に際し、平素から職員が
	環境、障害者等へ の配慮(社会性)	対応できるよう体制を整え気軽に利用できる環境づくりに努め
		対応 (さるよう体制を登え来程に利用 (さる環境: ) くりに劣める
	過去の実績等	【指定管理実績】
		下関市民会館第4期
		下関市立近代先人顕彰館第4期
		下関市生涯学習プラザ第4期
経済性		令和8年度234,646千円
		令和9年度252, 124千円
		令和10年度245,220千円
		令和11年度253,203千円
		令和12年度260,608千円